

《水素の力》

「水素」の力が働くのは、身体を衰えさせる「悪玉活性酸素」を除去すること、いわゆる抗酸化作用だけが確認されています。

抗酸化、つまり「酸化」を防ぐことは、私たちの身体のなかで起こる不調や老化の根本原因を断ち切る方法の重要なひとつだと考えられるのです。

呼吸で酸素を取り込んでいる私たちの身体は、つねに「酸化」とのせめぎ合いをしながら活動しているので

「酸化」した「リン」が瑞々しさを奪われ、果実としておいしさを失っていくように、「私たちの身体が「酸化」した「リン」のよう」に、徐々に萎びていくことを想像してください。

肌のハリが奪われ、髪の毛が失われ、足腰の動きが悪くなり、さまざまなところに痛みが出る。さらに、内臓や血管に疾患が見つかる。老化するということ、見た目の問題とともに、「リン」の味が悪くなってしまうように、身体の機能が衰え、痛みや病気が生じるということなのです。

つまり、「酸化」を防ぐことができれば、老化を抑制し、病気を予防することが可能だということです。



《究極のアンチエイジング》

さまざまな研究を重ねていくと、「水素」以来の抗酸化作用は、「善玉活性酸素」と呼ばれる、人間が活動するために必要な、よい活性酸素まで除去してしまうことがあるのです。

副作用なく悪玉活性酸素だけを除去できるのは、現時点では「水素」だけだと言われています。「水素治療」が究極のアンチエイジングだと言われる所以が、ここにあるのです。

さらに、「水素」が活性酸素の発生を抑えることによって、体内で起こるさまざまな「炎症」が抑止され、組織や細胞、血管などが「糖化」するのを防ぐことができま

す。体調が悪くなる時、体内では「酸化」「糖化」「炎症」が起きています。この三つの劣化作用を放置しておけば、細胞も臓器も老化の一途をたどってしまっわけですが、「水素」を使えば老化を抑制することが可能なのです。



《水素は悪玉活性酸素だけを

攻撃するスナイパー》

紫外線、放射線、大気汚染といった環境的なものや、ウイルス、化学物質、タバコ、薬など、いわゆる身体にとって「害」になるものは、悪玉活性酸素を生んでしま

います。さらに、脂の多い食事やコレステロール、運動不足など、よくない生活習慣によっても活性酸素は生まれることがわかっています。

こうした「毒」から生まれる「ヒドロキシラジカル」という活性酸素は、DNA、細胞内器官、細胞膜、組織タンパクなどを酸化劣化させてしまいます。

つまり、体内で「酸化」が起きることを防ぐためには、悪玉活性酸素だけを除去する必要があります。

ところが、多くの代替医療で利用されている酸化防止の治療法は、善玉と悪玉、どちらの活性酸素も攻撃するような方法になってしまっています。ここで登場するのが「水素」です。水素には強い抗酸化作用があると思われる方も多いのですが、じつは水素のすゝめは、抗酸化力の強さではなく、悪玉活性酸素のみを攻撃できる点にあるのです。いってみれば、不要なものだけに狙いを定めるスナイパーです。他の抗酸化物質は、爆弾のように大きな力ですべての活性酸素を消してしまっか、もしくは、活性酸素の種類を正しく選択することができません。なかには、過酸化水素しか消さない、人間にとっては困りものの抗酸化物質も存在するのです。

